

白鷹町でのワイン用ブドウの生産に融資 ～新設法人の耕作放棄地活用の取組みを JA バンク・日本公庫がサポート～

JA バンク山形県は、日本政策金融公庫(略称:日本公庫)山形支店と連携して、農事組合法人山形ホワイトイーグルスに対し、白鷹町での耕作放棄地を活用したワイン用ブドウの生産開始にかかる資金として、スーパーL 資金 33 百万円を融資しましたのでお知らせします。

1. 企業概要

会社名	農事組合法人山形ホワイトイーグルス(代表理事:紺野 正光)
住所	山形県西置賜郡白鷹町大字萩野 2207 番地 1
設立	2016 年 1 月
営農類型	ブドウ(ワイン用)の生産ほか
事業内容	ブドウ生産の規模拡大に係る設備導入(ブドウ棚、農業用機械等)
略歴	・2013 年 大手酒造メーカーと連携し、ブドウの試験栽培を開始。 ・2016 年 白鷹町から認定農業者の認定を受ける。 ・2017 年 農地 3.1ha を増やし、経営を本格化。

2. 経緯

農家の高齢化が進み、離農する農家が増えていることから、全国的に耕作放棄地が問題となっています。代表理事の紺野正光氏は従前より地域の環境保全活動を行うなど、地域を守るために積極的に取り組んできました。

地域活性化の取組みの一つとして、2013 年から大手酒造メーカーと連携してワイン用のブドウづくりを模索。耕作放棄地となっていた白鷹町萩野地区の農地(約 20a)を借り受け、試験栽培を開始しました。本年には同地区産のブドウを使用したワインが初めて出荷されるまでに至り、今後の生産拡大が期待されています。

試験栽培でのブドウ収穫の確認を経て、ブドウの生産を本格化させるため、2016 年 1 月に「農事組合法人山形ホワイトイーグルス」を設立し、本年には栽培面積を 20a から 330a まで大幅に拡大させました。

JA バンク山形県と日本公庫山形支店は、今回の規模拡大に必要なブドウ棚やスピードスプレイヤー等の導入をサポートしました。事業費は総額 48 百万円で、国の補助事業である「産地パワーアップ事業」を活用するとともにスーパーL 資金 33 百万円を融資しました。

JA バンク山形県は日本公庫山形支店と今後も相互に連携し、地域の農産物の付

加価値向上や地域振興に繋がる取組みを積極的にサポートします。



(たわわに実る試験栽培地)



(規模拡大用地、一面に苗木が広がる)

以 上

【本件に関するお問合せ先】

農林中央金庫 山形支店(次長:加藤、担当:佐々木) Tel:023-641-6275